



みらい



令和7年度
5月

今月号では、進路先の決め方について、昨年度卒業生の保護者の方々へ、「初めて見学に行ったのはいつか」「何か所くらい見学、実習をしたか」「何を参考にしたか」「大変だったことは」などアンケートを実施しましたので掲載いたします。ぜひ、参考に見学・実習など進めていただければと思います。

質問内容

- Q1. はじめて見学に行ったのはいつですか？
- Q2. 何か所くらい見学、実習をしましたか？
- Q3. 何を参考に事業所を見付けましたか？
- Q4. 何が大変でしたか？

- Q5. 事業所を決めるにあたり、何を決め手にしましたか？
- Q6. 実習に向けて家庭で気を付けたことはありますか？
- Q7. その他、伝えたいことをお願いします。



- A1. 高等部2年生秋頃
- A2. 3カ所見学、2カ所実習
- A3. 学校からの紹介
- A4. すべて
- A5. 本人が気に入ったのと、一人で通所ができること。
- A6. 1人で通所できること。
初めての場所なので、緊張しすぎないこと。
- A7. 親が希望するところを、子どもも気に入るかどうかを考えるとよいと思います。

- A1. 高2夏
- A2. 5カ所
- A3. 本人に合っていそうか、通う姿が想像できるか。
- A4. 仕事がある中、時間をつくるのが難しい。
- A5. 本人に合いそう、通う姿がイメージできたところ。
- A6. 特にありません。
- A7. 親の負担が大きかったです。進路指導の先生が相談にのってくださり、とても助かりました。
ありがとうございました。

- A1. 中学1年生
- A2. 見学10~15、実習8
- A3. 学校、パンフレット、ネット、口コミ
- A4. 本人にやる気をもたせること。
- A5. 場所（一人でできる）作業内容（安全性）
雰囲気（利用者）対応の様子。
- A6. 不安をもたせないようにする。
- A7. 実際に見たり実習したりすることで発見があります。たくさんある中から合う所が見つかります。
頑張ってください。

- A1. 中学部2年の時
- A2. 見学は10カ所（最初は就労移行かB型を考えていて、高2から生活介護に変更）
実習2カ所（就労移行支援、生活介護）
- A3. 学校の進路相談、基幹支援センター、近所にある所
- A4. 見学してもなかなかここという所が見つからなかった。定員がいっぱいで卒業後入れない所もあった。
- A5. 高2の夏休みに学校の進路相談や「みらい」を参考に見学した事業所から最も合っている所を選んだ。
生活全体を見てくれること、送迎があること、作業について本人の得意分野があること。
- A6. 子どもが元気で無理なく通えること。進路先には、短時間の体験から始め、学校からの実習を含め、5回実習をした。

- A1. 中学1年生
- A2. 13カ所見学・実習をした。
- A3. 相談支援の方からの紹介
- A4. 実習の日程調整
- A5. 気軽に相談できそうなところ。
本人の個性、好きを伸ばしてくれそうなところ。
- A6. 体調に気を付けること。

- A 1. 高1
- A 2. 4ヵ所
- A 3. 学校に置いてあるチラシ（先生からの配布）
- A 4. どこが自分の子どもに合っているか…悩みました。
- A 5. 家からの近さ、トイレのきれいさ。
- A 6. 言葉遣い。親と事業所の方が話している時は、静かにすることを教えました。
- A 7. どこの方も親切で分からないことを色々教えてくれるので、どんなことでも質問してみてください。

- A 1. 高等部1年夏休みから
- A 2. 見学は8ヵ所、実習は、その中の5ヵ所
- A 3. 進路説明会での資料や配布物。先生方との相談や地域で見かける看板等。
- A 4. 見学したい事業所を絞り込むのに時間がかかりました。
- A 5. 事業所の考え方や方針が本人と合うかどうか。
- A 6. 体調管理、マナーの確認。
- A 7. 悩んだら、担任の先生や進路の先生に迷わず相談を。

- A 1. 高等部1年の秋
- A 2. 8ヵ所
- A 3. 学校からの紹介、家から近所、放課後デイからの紹介
- A 4. 実習先の方とのコミュニケーション
- A 5. 本人がやりたい仕事
- A 6. 規則正しい生活をして、体調を整えること
- A 7. できるだけたくさんの実習をして、自分のやりたい仕事を見つけてください。

- A 1. 個人では、就労移行支援へ高1の5月です。学校では、会社見学に高1の7月に行きました。
- A 2. 就労移行、企業などの説明会、見学（保護者のみ含む）、実習を合わせると23回。11ヵ所。
- A 3. 先生、支援員さんからの情報をもとに実際に見学して直感（空気感）と子どもの様子を参考にしています。
- A 4. 子どものストレス（緊張感）で親も気を張る生活。夏の暑い時期の活動が多いので、体調管理。
- A 5. 事業所の方の話をよく聞き、こちらの質問にも誠実に応えてくださるところ。
- A 6. 実習期間中は余計なことは言わない。見守る。
- A 7. 複数の実習を経験して、良いことも大変なこともありましたが。その時々で最善を尽くしていれば無駄なことなどなく、子どもにとって例えようのない経験になりました。感謝しています。子どもを見守り信じてください。

- A 1. 高等部1年の夏休み前
- A 2. 見学は5ヵ所、実習は3ヵ所
- A 3. 学校や知人の紹介
- A 4. 本人の生活や実力と仕事が合うのかどうかを見極めること。
- A 5. 企業のハンディーのある子に対する姿勢にあたたかさを感じたから。
- A 6. きちんとあいさつをすること。分からないことがある時は、すぐに指導員さんに聞くこと。
- A 7. 慣れない環境での現場実習がストレスになっていないか？日々コミュニケーションを取り、色々話をしました。

- A 1. 中1夏休み
- A 2. 5ヵ所
- A 3. 一覧を見て、気になる所をホームページで見た。
- A 4. それぞれの事業所に電話をして、予定を合わせることに。
- A 5. 事業所内での子どもの様子
- A 6. 体調を可能な限り整えることです。

- A 1. 現場を見に行っただのは、小6か小5が初でした。本当に卒業後を見据えて…なら高1後期です。
- A 2. 見学は4～5ヵ所、実習経験は4ヵ所です。
- A 3. ネットで事業所のページを見て、雰囲気を感じてから、まず保護者のみで面談、見学をしました。
- A 4. 送り迎えです。下の子どもの予定もあるので。入所後もそのペースが続くので、なるべく負担にならないような所を探しました。
- A 5. 本人の楽しそうな様子や、先輩たちの雰囲気。特に利用者さんとスタッフさんのやり取りが楽しそうなのところをじっくり見ました。
- A 6. 自分のことは自分でするという気持ちになってもらうように、「4月になったら大人になれるよう頑張ろう」という声掛けをしていました。“大人＝あこがれ”的なところがあったので…。
- A 7. 本人のことも大切ですが、卒業後ともに歩む家族も大切です。手助けが必要な子なので、家族が無理なく生活できることも頭に実習先を考えることが必要かと思いました。

- Q 1. はじめて見学に行ったのはいつですか？
- Q 2. 何か所くらい見学、実習をしましたか？
- Q 3. 何を参考に事業所を見付けましたか？
- Q 4. 何が大変でしたか？
- Q 5. 事業所を決めるにあたり、何を決め手にしましたか？
- Q 6. 実習に向けて家庭で気を付けたことはありますか？
- Q 7. その他、伝えたいことをお願いします。

進路説明会等でもお話しさせていただきましたが、例えば「送迎がある」「レクがある」「将来グループホームに入りたい」「就職につながる作業がある」「掃除がしたい」「細かい作業がいい」などの「条件」や「軸」を確立することを目標に見学や実習を始めてみてください。ある程度「軸」や「条件」をもって高等部1年生を迎えることができれば安心です。お困りごとがございましたら、ぜひお早めにご相談ください。